

星のたより

2022(令和4)年
11月号
Vol. 338

☆今月の豆知識☆
◀ じら座って、星座の絵を見ると、僕たちが知っている「クジラ」とは、ずいぶん姿が違うよね。「海の怪物」がもともとなっているみたいだけど、海の中ってなにか怪物がいそうに思ったのかな。神話だと勇者ペルセウスが「メテューサの首」で石にしたけど、持ってなかったらどうやって退治したんだろう。

11月から冬時間スタート

～開館時間帯と休館日が11月から変わります～

夜はずいぶん寒くなりましたが、昼間も日差しがないと寒くなってきました。さじアストロパークは、11月から3月までの期間中、冬時間での営業となります。この期間は、夜間利用時間と休館日が変わります。毎週火曜日にも休館となりますので、ご注意ください。

夜間利用期間：19：00～21：00

土曜日以外は、事前予約が必要となります。

ご利用日前の開館日、17時までにご予約をお願いします。

休館日：毎週月曜日と火曜日、祝日の翌日、年末年始



新型コロナウイルス感染拡大防止のお願い

～ご協力をお願いします～

さじアストロパークをご利用の際は、以下の項目にご理解の上ご利用いただきますよう、よろしくお願い致します。開館状況などの最新の情報は、さじアストロパーク公式ホームページ等でご確認ください。

- ◎風邪症状のある方の利用は控えてください。
- ◎入館時、受付で体温の測定をさせていただきます。37.5℃以上の方は、ご利用をお断りすることがありますのでご了承ください。
- ◎館内展示の見学は、お客様同士の間隔を十分に開けて、密集状態とならないよう配慮してください。
- ◎利用者の皆様は、必要に応じマスクの着用や消毒液での手洗いにより、感染拡大防止に努めてください。

安心して利用してもらえるように、換気設備を増設して開館中だよ。



イベント★耳より情報

☆新型コロナウイルスの影響で変更となる場合があります。公式ホームページで最新情報をご確認ください

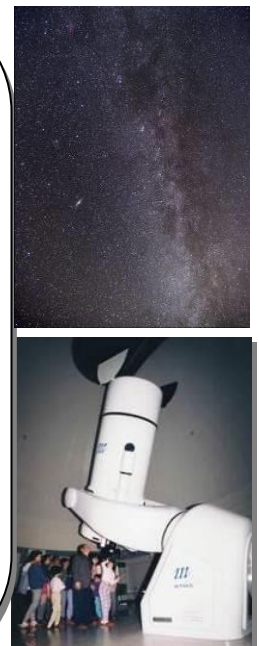
☆期間展示☆ 「アストロ宇宙写真展」9月22日(木)～12月11日(日)
専門職員が撮影した天体写真を解説付きで展示します。

☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク
第2部 スペースコロニー 9月22日(木)～12月18日(日)
特別投影 宇宙なんちゃらこてつくん：投影時間帯は、さじアストロパークHPでご確認ください
11月19日(土)、20日(日)、23日(水)、25日(金)～27日(日)、12月3日(土)

☆夜間観望会☆ ☆11月のテーマとおすすめ情報

月、木星、土星	5(土)
天王星、海王星	12(土)
満天の星とアンドロメダ銀河	19(土)
満天の星と球状星団 M2、M15	26(土)
観望会で満天の星が楽しめる	10(木)～27(日)
観望会で月がよく見える	2(水)～6(日)

☆11月の休館日 1(火)、7(月)、14(月)、15(火)、21(月)、22(火)、24(木)、28(月)、29(火)
8日(火)は、宇宙ふしぎ探検開催のため、午後から開館します。



※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。

プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で昼も夜も星空満喫～

定員25名で実施中

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員によるライブトーク、後半は、テーマ番組を投影しています。観覧の際は、引き続き感染防止にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

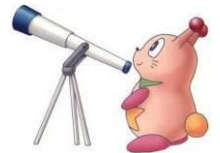
テーマ番組「スペースコロニー」9月22日から投影がスタート

9月22日(木)から秋のテーマ番組「スペースコロニー」がスタートしましたが、11月19日(土)、20日(日)、23日(水)、25日(金)～27日(日)、12月3日(土)は、テーマ番組の内容が特別投影「宇宙なんちゃらこてつくん」となります。特別投影「宇宙なんちゃらこてつくん」がある回は事前申し込みが必要になります。

2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

定員25名、要予約で実施中

103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を25名 ②事前予約 ③マスク着用 ④緊急連絡先の提出 をお願いしていますのでご了承ください。感染防止につきましてはこれまで通りご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。個人の方(お一人からご予約できます)はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



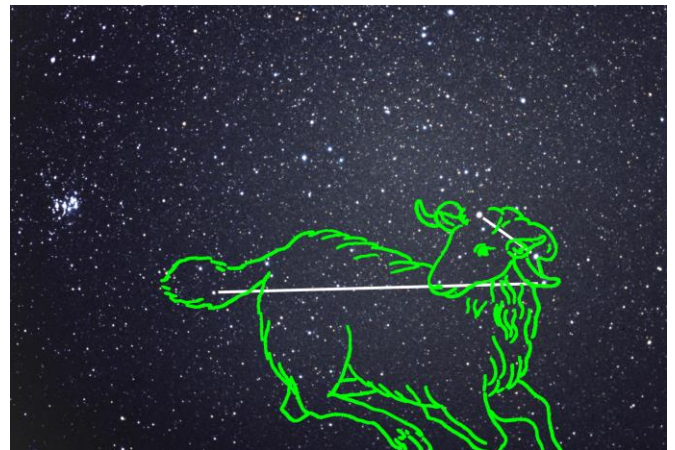
11月の注目天体情報

11月のビッグな天文現象「皆既月食」は、おひつじ座で起こります。ちょうどその時おひつじ座には天王星もいます。皆既月食と合わせて今月は「おひつじ座」と「天王星」に注目してみましよう。

☆見ごろの星座：おひつじ座

おひつじ座は誕生星座のトップバッターです。これは星占いがはじまった3,000年くらい前に、春分の日には太陽がおひつじ座にあったためです。現在は春分の日には太陽はとなりのうお座にあります。

ギリシャ神話では黄金の毛皮の空を飛ぶヒツジとして登場します。夜空ではすばるの西側にあり、角に輝く2等星と3等星の2つの星が目印です。



おひつじ座とすばる(左の星の集まりがすばる)

☆天王星

地球の4倍もある惑星ですが、地球からの距離は約28億キロメートルと遠いため、望遠鏡で見ても小さくて木星や土星のように表面の様子は見えません。しかし、少し面積を持った姿から、恒星とははっきり違いがわかります。天王星は84年で太陽の周りをまわっています。

ほかの惑星と違うのは横倒しになっていることです。これははるか昔に大きな天体と衝突した影響と考えられています。天王星は5.7等星という目で見えるぎりぎりの明るさです。



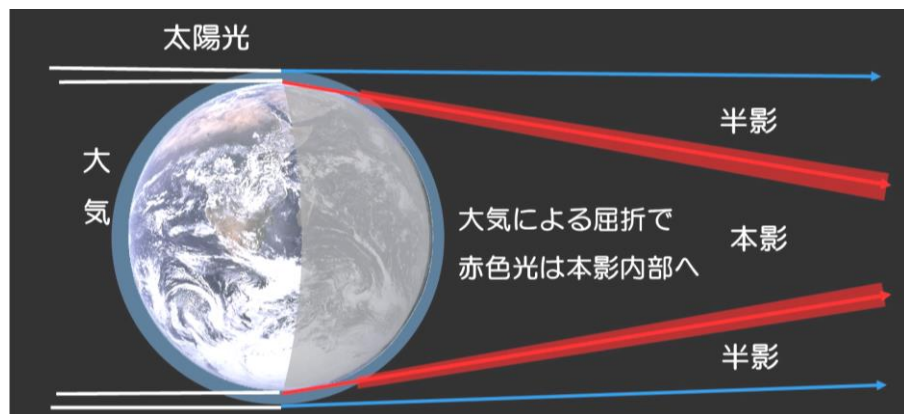
ボイジャー2号が撮影した天王星

皆既月食 その2

～ 皆既月食を見よう ～

今月号では、なぜ月は赤く見えるのか、天王星食、イベントについて紹介します。

月が赤く見える訳



皆既中に月が赤銅色に見えるのは、地球の大気を通り抜けた太陽の赤い光が屈折して、地球の影の中に入り込んでいるため、夕焼けのように赤く照らし出されます。また、皆既月食のたびに明るさが違います。これは、大気の澄み具合に関係しています。火山の

噴火が起こると、火山灰の影響で皆既中の月がほとんど見えない状態になります。皆既月食の赤い月は、大気の汚れ具合を示しています。

天王星食

今回の月食では、皆既中に「天王星食」が起こります。天王星が月に隠される現象です。天王星の光度は約6等。肉眼で見るのは難しいかもしれません。双眼鏡か望遠鏡を使って見てください。

天王星食は、天王星が徐々に月に潜入し、徐々に月から出現します。恒星食では、恒星が一瞬で潜入・出現しますが、天王星は見かけの大きさがあるため、潜入・出現は少し時間がかかります。ちなみに、潜入・出現どちらも10秒ほどかかります。(下図はアストロアーツ社・ステラナビゲータをもとに作成)



イベント情報

当日は、宇宙ふしぎ探検「皆既月食と天王星食を観察しよう」と題してイベントを行います。

日時：11月8日(火) 17:30～22:00

参加費：大人(高校生以上)300円、小人(小中学生)無料(入館料として)

定員：25人(事前予約が必要です)

その他：雨天曇天の場合は、会議室で月食のお話や星座の紹介などを行います。

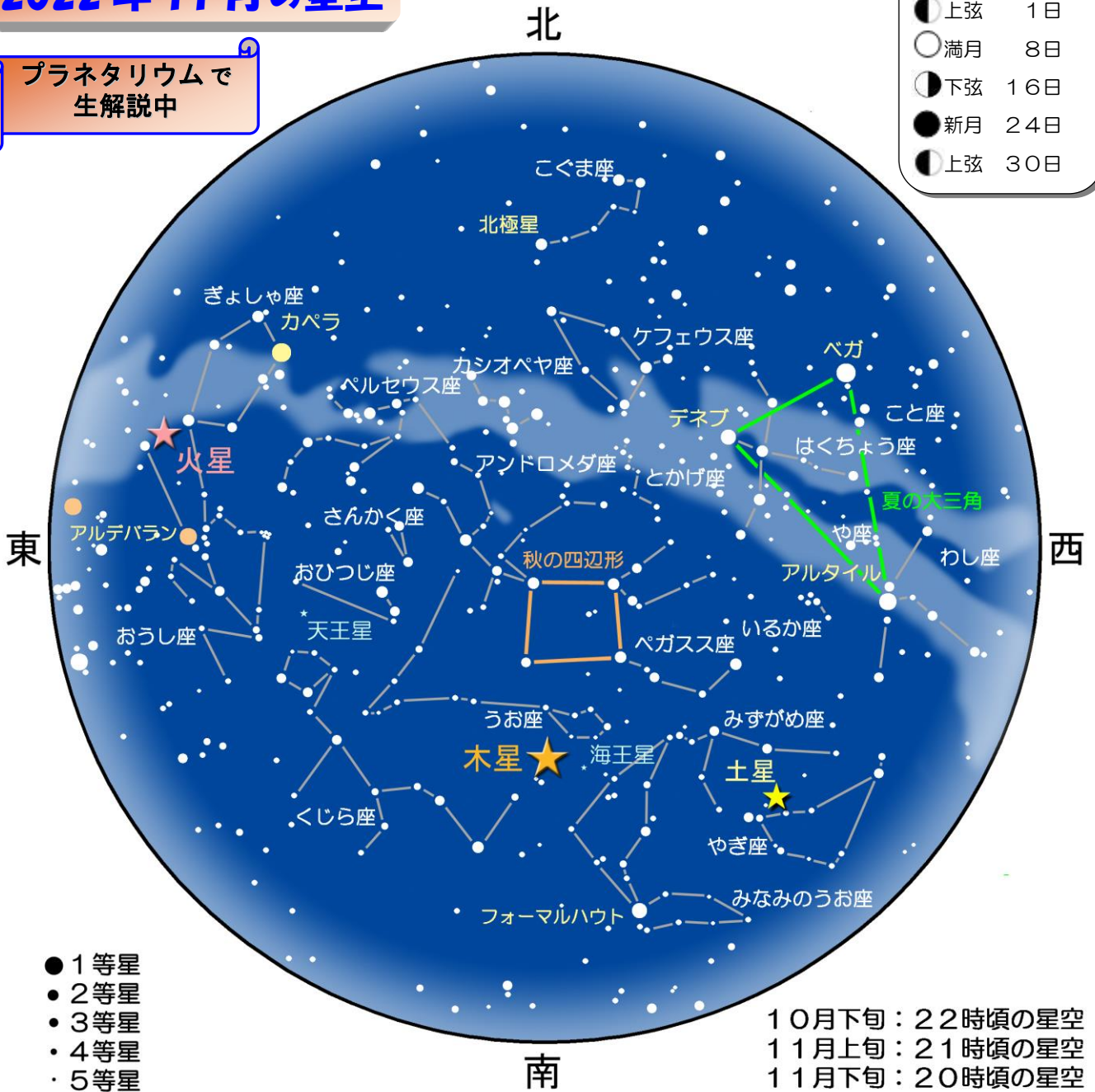
[公式YouTubeチャンネル](#)で生配信を行います。

2022年11月の星空

11月の月の暦

- ☾ 上弦 1日
- ☽ 満月 8日
- ☾ 下弦 16日
- 新月 24日
- ☾ 上弦 30日

プラネタリウムで
生解説中



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 5等星

10月下旬：22時頃の星空
11月上旬：21時頃の星空
11月下旬：20時頃の星空

☆11月になると山々の紅葉が進み、花いっぱいのはつばきとは違った華やかさになります。日没が早くなり星空を長く楽しめますが、寒さも厳しくなりますので温かい服装で無理なく観察しましょう。

☆星空で一番目立つのは、なんといっても「木星」でしょう。南の空にひととき明るく輝いています。東の空には明るく輝く「火星」が見えています。赤く輝く姿が印象的です。12月初めに地球に中接近しますので、いつもよりも明るく見えています。南西の空には「土星」が見えています。木星と火星に比べると少し控えめに見えます。観察好機はそろそろ終わりますので、早めに見ておきましょう。

☆頭の真上には「秋の四辺形」が見えています。2等星と3等星で正方形のような四角を探します。今年木星が近くにいますので、いい目印になりますね。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観察会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック。Youtubeも開設。

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1
TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103
<http://blog.zige.jp/saji-astro/>
e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp